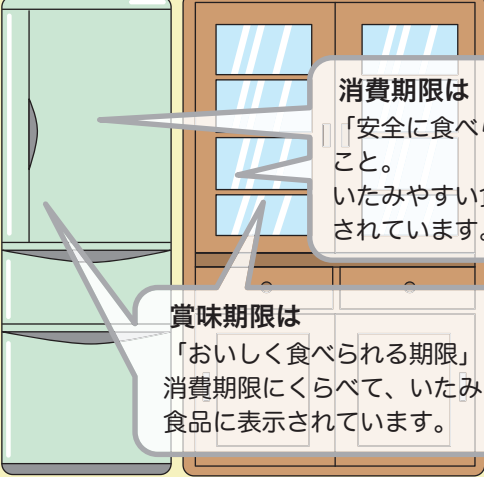


もったいない...たべもの、捨ててしまっていないですか？

まだ食べられるのに、捨てられてしまう食べ物、「食品ロス」が問題となっています。


10月はそんな“食品ロス”削減月間です。日々のお買い物や調理方法、冷蔵庫の中を見直してみましょう！



消費期限は
「安全に食べられる期限」のこと。
いたみやすい食品に表示されています。

賞味期限は
「おいしく食べられる期限」のこと。
消費期限にくらべて、いたみにくい食品に表示されています。

「期限」が過ぎたら食べちゃダメ？消費期限と賞味期限



書かれている「期限」が
どういうものか知っておく
ことが大切！

賞味期限が切れても、すぐ
に「食べられなくなる」
わけではないのです。

でも、一度あけてしまっ
た食品は、期限に関係なく
早めに食べるようにしまし
ょうね。


※
日本国内で出た食品ロスの量は、**年間612万t**

そのうち、家庭から排出されたのは**年間284万t**と推計されています。


主な内訳は、「食べ残し」「期限切れ」「過剰除去（皮の剥きすぎなど）」など。

※平成29年度農林水産省データ

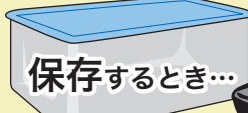
どうやったら減らしていけるか、ひとりひとりが考えて行動することが大切です。




買うとき...




保存するとき...



作るとき...





食べものに、
もったいないを、
もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT

令和2年度 わが家のごみ減量アイデア大募集！

令和2年11月20日(金)必着

昨年、たくさんのアイデアを応募いただいた「わが家のごみ減量アイデア」。

今年はお家庭だけでなく、市民団体や市内店舗からの参加も大募集★

【募集内容】

- **個人の部** 自宅で実践している食品ロス削減アイデアを2項目に分けて募集！
①アイデアレシピ ②レシピ以外のアイデア
- **団体の部** 市民団体・グループや市内の企業・飲食店・小売店で取り組まれている食品ロス削減の取り組み。

【応募資格】

木津川市民、市内に事務所・店舗のある事業所等

【応募方法】

応募用紙に必要事項を記入し、まち美化推進課まで。応募用紙は、まち美化推進課窓口またはHPからダウンロードください。持参・郵送・FAX・電子メール・ごみ分別アプリ内応募フォーム、いずれの方法でもOKです。

【募集期間】

令和2年10月1日(火)～11月20日(金)必着

【その他】

- 応募されたアイデアは、市の広報や各種施策に活用します。
- 木津川市廃棄物減量等推進審議会等で審査の上、優れたアイデアを表彰・公表します。
- 団体の部全応募団体名を市HPなどに掲載します。
- 詳しくは市HP、募集要項をご確認ください。



個人の部応募の方全員にごみの減量チャレンジセットをプレゼントします！

※同一のご住所で1セットとなります

テーマは
「食品ロス削減」

令和元年度 可燃ごみ袋有料化の収支はこうになりました。

収 入

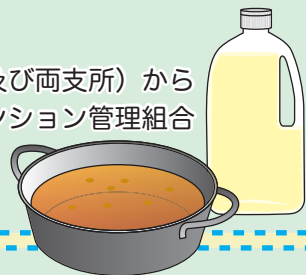
項 目	決算額
家庭系可燃ごみ袋販売収入	100,657千円

支 出

項 目	決算額
必要経費	28,357千円
指定ごみ袋作成費	18,010千円
取扱店への販売手数料	5,071千円
指定ごみ袋保管・配送委託料	3,638千円
可燃ごみ組成調査委託料	1,176千円
その他（ボランティア袋等作成費）	462千円
活用事業費	6,386千円
地域学習会	17千円
市民提案型ごみ減量活動等補助金	1,281千円
不法投棄対策	932千円
情報発信事業	978千円
リサイクル活動の拠点事業	3千円
古紙集団回収事業の拡充	490千円
生ごみ処理容器普及事業	480千円
使用済み食用油資源化事業	60千円
ごみ分別アプリ配信事業	851千円
防鳥ネット無償貸与事業	324千円
ごみ収集拠点整備等補助金事業	970千円

使用済み食用油資源化状況

市内3か所（市役所本庁舎及び両支所）からスタートし、相談のあったマンション管理組合のご協力により1か所設置。
計796kgを回収しました。



不法投棄対策



不法投棄対策としてパトロールを強化するとともに、太陽光発電駆動式監視カメラシステム2基を購入。
申請に基づき2地域へ貸し出しました。

防鳥ネット無償貸与・ごみ集積拠点整備補助

地域からの申請に基づき、防鳥ネットを20地域54拠点へ大23枚、小33枚を貸し出しました。また、集積拠点については11地域19拠点へ補助金を交付しました（新規設置15件、修繕4件）。



生ごみ処理容器の普及促進

ダンボールコンポスト講習会を計15回開催、約230名の方に参加いただきました。

また、生ごみ処理容器の貸し出しについては、2機種合計で17件を貸し出しました。



ごみ分別アプリ配信事業

12月からAndroid版、iOS/iPadOS版について配信を開始、商業施設等においてアプリの啓発や操作説明会を開催しました。

「収集日や分別の確認にとっても便利！」とのお声をいただいています。

各事業とも今年度も継続して行っております。
ぜひ活用をご検討ください

今年度も「可燃ごみ」の組成調査にご協力ください。

可燃ごみのさらなる減量化と再資源化を推進するため、10月～11月に組成調査をおこないます。

この調査では、可燃ごみにどのようなものが含まれているのか、資源化できるものは混じっていないのかなどを調べ、今後の施策の基礎数値とします。

一部の地域において、通常のごみ収集車とは異なる車両で収集することがあります。ご理解とご協力をお願いします。

右の写真は昨年（令和元年度）の組成調査で混ざっていた手付かずの食品たち…



〈問い合わせ先〉〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9 木津川市役所市民部まち美化推進課 [令和2年10月発行]
TEL:0774-75-1215(ダイヤルイン) FAX:0774-72-3900 Mail:machibika@city.kizugawa.lg.jp

※この「MOTTAINAI便利」は、循環型社会推進事業の一環として、ごみの「減量」・「再資源化」につながる身近な情報などを隔月で市民の皆さんにお知らせする情報紙です。不要になりましたら、「雑がみ」として古紙回収にお出しいただき、リサイクルにご協力くださいますようお願いいたします。